

30年積み重ねた歌声

三好女声コーラス30周年コンサート

「三好女声コーラス」が発足から30周年を迎え、6月28日にサンアートで記念コンサートを開きました。昭和47年、公民館講座に参加した仲間たちが立ち上げたこのクラブ。今まで、大会への参加やボランティア活動などで活躍してきました。コンサートでは「マリアの子守歌」など15曲を披露。会場に訪れたおよそ900人は、その歌声に酔いしれていました。高梨貞子団長は「皆さんのおかげで、このようなコンサートが開けました」と感慨に浸っていました。



みんなで力を合わせて

三好町子ども会球技大会

子ども会同士の交流を深めてもらおうと6月22日、総合体育館で子ども会球技大会が開催されました。男女別のドッジボールで争われたこの大会には、町内の子ども会から38チーム、およそ600人が参加。子どもたちは、大きな歓声と熱気に包まれた中で、思いっきりドッジボールに打ち込んでいました。男子優勝チーム「ボーイズひばり」キャプテンの西井啓貴君は「みんなで力を合わせて優勝できました。郡大会でも優勝したいです」と目を潤ませていました。



初めて見る紙芝居に大笑い

紙芝居

子どもたちに昔ながらの紙芝居を見てもらおうと6月28日、中央図書館で紙芝居が行われました。紙芝居は、劇団「おりおん座」の辻太一さんが熱演。3ちゃん少年が活躍する自作紙芝居「1・2の3ちゃん」や紙芝居クイズに、子どもたちからは大きな笑い声や拍手が響いていました。女の子の一人は「とても面白かった」と大満足な様子。一緒に参加したお母さんは「参加できるクイズもあって、大人も楽しめますね」と笑顔で話していました。



思いやりや感謝の気持ちを

少年の主張三好町大会

子どもたちが、日ごろ考えていることや実践していることを広く伝え、青少年の健全育成に対する理解を深めてもらおうと毎年開催されている少年の主張三好町大会。今年は、6月21日にサンアートで行われました。人を思いやることの大切さや母への感謝の気持ちなど、今持っている思いを町内の小中学校代表10人が力強く発表。熱心に聴いていた男性の一人は「大切な事ばかりで、わたしたち大人が考えさせられますね」と感じている様子でした。



絵本作りに夢中

手作り絵本教室

6月23日から29日まで、キッズハウスみよしで手作り絵本展が開催されました。28日には、各地で手作り絵本の個展や講演を開く、おのみどりさんを講師に迎え「ミニ絵本を作ろう」と題した手作り絵本教室を実施。13人の参加者は、製本の仕方や模様の付け方などを分かりやすく説明するおのみどりの指導を受け、楽しく絵本作りに挑戦しました。12ページの絵本を作った小学生の男の子の一人は「初めて作ったけど、とても楽しい」と絵を書くのに夢中でした。



区民に親しまれる施設に

ひばりヶ丘ふれあいセンター落成式

ひばりヶ丘ふれあいセンターが完成し、6月29日に落成式が行われました。これは、子どもにも開放するなど、区民が広く交流できる拠点施設にしようと建てられたもの。初めに川口進司区長が「区民が協力してセンターを運営し、区の発展に努力していきます」とあいさつ。続いて久野知英町長が「この施設を有効に活用し、皆さんに親しまれる施設にしてください」と話しました。なおセンターは、太陽光発電を利用した環境にやさしい施設となっています。

